

令和6（2024）年度

岡山県立大学大学院

保健福祉学研究科

（博士後期課程）

学生募集要項

（海外指定校特別入学試験）



# 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科の入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

## 保健福祉学研究科の入学者受入れの方針

保健福祉学研究科は、保健・医療・福祉分野の専門職としての深い知識と卓越した能力を身に付け、各分野の課題を提起し、それを解決し得る研究能力を持つとともに、広く健康社会の発展に貢献できる研究者あるいは高度専門職業人を育成します。

このため各専攻ではアドミッション・ポリシーに示す入試を実施し、広く国内外からの学生を選抜しています。

## 保健福祉科学専攻(博士後期課程)の入学者受入れの方針

保健福祉科学専攻(博士後期課程)は、人間が抱える諸問題に関して、生命や栄養、看護、福祉など各方面からアプローチし、深い倫理観と総合的な判断力をもって、問題の解決策を提案できる高度な見識を備えた各専門職領域の実践者、指導者、研究者及び教育者の育成を目指しています。

したがって、保健・医療・福祉分野の広範な知識・技能とともに深い倫理観と総合的な思考力・判断力を持ち、高度な学問的見識や英語を含む十分なコミュニケーション力を修得し、海外や地域における保健福祉問題を掘り起こして、その対策を立案する意欲のある人を求めます。

本専攻では、外国語(英語)の筆記試験と、修士論文と研究計画書に基づいて専門知識やそれに基づく思考力・判断力、意欲、人物を評価する面接試験を行います。

# 令和6(2024)年度岡山県立大学大学院保健福祉学研究科 (博士後期課程)海外指定校特別入学試験学生募集要項

## 1 募集人員

若干人

## 2 出願資格

次の(1)から(6)までをすべて満たす者。

- (1) 大学間交流協定校の学長が、責任をもって推薦できること。
- (2) 修士の学位を取得した者、または2024年3月末までに取得する見込みの者。
- (3) 学士及び修士の学位の取得に当たり、優秀な成績を修めていること。
- (4) 研究テーマに係る専門知識が豊富で、勉学意欲が旺盛なこと。
- (5) 研究テーマに係る研究活動を、英語または日本語で円滑に行うことができること。
- (6) N2レベル以上に相当する日本語能力を有することが望ましい。

## 3 入学日

2024年4月1日(月)

## 4 出願手続

### (1) 出願方法

- ① 所定の入学志願書及び必要書類を、推薦大学を經由して、国際郵便等で提出すること。電子メールによる出願は認めない。
- ② 入学志願書及び必要書類は、日本語または英語で記載すること。

### (2) 出願期間

2023年9月25日(月)～9月29日(金)

### (3) 出願先

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地  
岡山県立大学事務局教学課入試班

## 5 出願書類等

- (1) 志願書(様式1)
- (2) 卒業及び修了(見込)証明書(厳封のこと)
- (3) 成績証明書(学部・大学院各1通/厳封のこと)
- (4) 修士論文概要書
- (5) 研究計画書
- (6) 学長及び指導教官の推薦書(厳封のこと)
- (7) 受験票及び写真(様式2及び3)
- (8) その他(日本語能力を証明することができる書類を有している場合はその写し)

## 6 大講座責任者及び指導希望教員との面談

出願に先がけ、2023年9月15日(金)までに、推薦大学と岡山県立大学を、インターネットを利用したテレビ電話や Web 会議システム等で結び、入学志願者は、入学を希望する研究科の大講座責任者及び指導を希望する教員との間で、英語または日本語による「遠隔面談」を、必ず複数回行うこと。ただし、出願書類の中で、(1)、(4)、(5)、(6)、(7)、(8)については、そのコピーが、第1回目の遠隔面談の2週間前までに本学に到着していること。遠隔面談の日程調整は、2023年9月 1 日(金)までに、事務局教学課入試班を経由して電子メールで行うこと。

### 指導可能教員

※令和6年度予定のため変更になる可能性あり

大講座名	教員名 ●が大講座責任者
看護学大講座	●森本美智子教授、荻野哲也教授、住吉和子教授、森永裕美子教授、實金栄教授、喜多村真治教授、岡崎愉加准教授、名越恵美准教授、井上幸子准教授、佐々木新介准教授
栄養学大講座	●山下広美教授、山本登志子教授、入江康至教授、伊東秀之教授、高橋吉孝教授、川上貴代教授、田中晃一教授、川上祐生准教授、池口主弥准教授
保健福祉学大講座	●高戸仁郎教授、近藤理恵教授、中村光教授、坂野純子教授、岩満賢次教授、村社卓教授、竹本与志人教授、樂木章子准教授

## 7 試験

### (1)試験日

2023年10月19日(木)

### (2)選考方法

入学者の選考は、推薦大学と岡山県立大学を、インターネットを利用したテレビ電話や Web 会議システム等で結び、これを用いた英語または日本語による「遠隔面接試験」の結果を総合して行う。

### (3)内容及び配点

専門分野に係る口頭による試験	100点
修士論文及び研究計画書に係る口頭による質問	100点

## 8 合格者発表

### (1)通知期日

2023年11月1日(水)

### (2)通知方法

- ①推薦大学を経由して、結果を志願者に通知する。
- ②入学許可者に対しては、推薦大学を経由して、入学許可証及び入学手続きに関する書類を送付する。

## 9 入学手続

### (1)手続期限

2023年11月13日(月)まで(必着)

### (2)手続方法

- ①手続に必要な書類を、推薦大学を經由して、国際郵便等により提出すること。
- ②期限までに手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱う。

## 10 入学者の特典

- (1)入学料を、全額免除する。
- (2)授業料を、最長3年間免除する。(成績に応じて中断・取消の場合あり)

## 11 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

## 12 その他

- (1)入学検定料は、無料とする。
- (2)博士の学位の授与は、岡山県立大学大学院の関係規程等に基づいて行われるところであり、この特別入学試験による入学が、そのまま博士の学位の授与を保証するものではない。
- (3)日本での留学に必要な在留資格取得のための手続を、岡山県立大学の協力のもとで、入学時まで完了させること。
- (4)入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が確認された場合には、入学を取り消すことがある。

## 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科(博士後期課程)案内

少子・高齢化が進展し、複雑化・多様化している地域社会において、真に豊かな高福祉社会を実現するためには、少子・高齢社会にふさわしいより質の高い保健福祉サービスの基盤を整備することが緊急の課題となっています。そのため、本学は「人間尊重と福祉の増進」を基本理念として保健福祉学部並びに大学院博士前期課程において、より専門的な教育研究を進めるとともに、保健福祉分野の推進役となる人材を養成してきました。

かかる実績を踏まえ、さらに保健福祉科学の一層の深化及び地域住民の健康の維持・増進の学術的拠点の構築を目指し、保健福祉に関する諸問題に解決を与え得る高度の見識を備えた教育者・研究者の育成を行うことが重要です。このため本専攻は、人間の健康課題について、看護学、栄養学、保健福祉学の各大講座の専門性をいかしつつ多面的な切り口で教育・研究を行います。

### 大講座編成と教育・研究内容

#### 【看護学大講座】

看護専門職は多様かつ急速に変化する社会状況を認識し、人々の健康の維持・増進又は疾病予防や回復を目指す方法を見出していかなければなりません。そのためには健康と看護の概念の史的変遷を踏まえ、看護実践を通して生じる諸現象やケアそのものを科学的に解明していく必要があります。本大講座では、慢性疾患患者やがん患者及びその家族が抱える諸問題や高齢者等のケアニーズに対応する看護システムやケア開発、看護の質向上に資する教育・研究を行います。

#### 【栄養学大講座】

高齢社会を迎え、生活習慣病をはじめとする慢性疾患から人々を守り健康を維持・増進するためには、食と健康に関する諸問題を解決する必要があります。本大講座では、食事に伴う栄養現象を生命科学のアプローチにより解明し、病気の一次予防から三次予防に至る各過程にいかすことを目指した教育・研究を行っています。研究分野は、食品中に含まれる新規機能性成分の探索並びに食品の安全性の追求、慢性疾患における脂質代謝をはじめとする代謝調節系の役割の解明、そして生命現象としての栄養の中樞神経系における制御系の解明に及んでいます。

#### 【保健福祉学大講座】

少子・高齢社会において、社会福祉学的視点と健康科学的視点からの保健福祉問題の解明は人間の健康と生活の質の向上に寄与するものです。本大講座では、児童、障害児・者、高齢者を主な対象として、その自立支援に関する教育・研究を行います。研究の分野は、(1) 児童の健全育成と発達保障及び育児・発達支援の理論的 pursuit と方法論の検討、(2) 身体、知的、精神障害の評価方法及び自立支援の理論的追及と方法論の探究、(3) 加齢に伴う身体的、認知的変容過程の探究及び高齢者の健康の保持増進を促す方法論の検討等です。

研究指導可能教員と主な研究課題（令和6年度予定）

大講座	担当教員	主な研究課題
看護学大講座	荻野哲也 教授	1 医療従事者が知っておきたい生命科学 2 看護実践における生体の変化・応答の解析 3 酸化ストレスによる細胞組織の機能修飾
	森本美智子 教授	1 輸入・新興感染症に対する感染防護具の臨床現場のガイドライン策定研究 2 院内感染に対する感染看護に関する研究（環境整備など） 3 看護ケアに関するシソの抗菌性およびリラックス効果の開発研究
	住吉和子 教授	1 糖尿病患者のケアに関する研究 2 患者教育に関する研究 3 解決志向アプローチを用いた面接技法に関する研究
	實金栄 教授	1 看護実践における倫理的課題に関する研究 2 高齢者のエンドオブライフケアに関する研究 3 高齢者の健康寿命の延伸に関する研究
	森永裕美子 教授	1 父親研究から児童虐待防止に向けたアセスメントガイドの開発 2 保健師の現任教育、人材育成に関する研究 3 災害時公衆衛生活動、被災者支援に関する研究 4 公衆衛生看護活動に関する研究（地域組織活動、介護負担感軽減等）
	喜多村真治 教授	1 医学・看護・保健・福祉・介護分野の人工知能（AI）研究 2 看護における内科的管理に関わる研究 3 慢性腎臓病・透析管理に関わる研究
	岡崎愉加 准教授	1 思春期保健に関する研究 2 子育て支援に関する研究 3 女性のライフサイクル各期の課題に関する研究 4 助産学教育に関する研究
	名越恵美 准教授	1 がん・心不全などの慢性疾患患者・家族に対する治療期・緩和期の意志決定支援に関する研究 2 看護師の職業的アイデンティティと組織開発に関する研究 3 高齢者・介護者等の急変時対応に関する研究
	井上幸子 准教授	1 精神障害者の地域生活を支えるための看護職の役割と多職種連携・資源活用に関する研究 2 精神障害や発達障害を有する方とその家族の支援に関する研究
	佐々木新介 准教授	1 看護援助・看護技術の科学的根拠に関する研究 2 生体情報を可視化する計測方法の開発 3 新しい看護援助用具の開発

大講座	担当教員	主な研究課題
栄養学大講座	高橋吉孝 教授	1 アラキドン酸の代謝酵素に関する病態生化学的研究 2 エイコサノイドの病態との関連に関する研究
	山本登志子 教授	1 慢性炎症予防を目指した食品機能性に関する研究 2 乳汁中脂質成分の新たな栄養学的意義の解明 3 恒常性維持と病態に関与する生理活性脂質合成系酵素の分子組織化学的研究
	川上貴代 教授	1 肝疾患と脂質栄養に関する研究 2 栄養・健康教育における栄養評価指標の開発に関する研究
	入江康至 教授	1 新規癌抑制因子 Amida の機能解析 2 伸展培養刺激モデルを利用した慢性腎疾患 CKD モデルの研究
	伊東秀之 教授	1 食品素材に含まれる機能性成分の単離及び化学構造研究 2 機能性食品成分の分析法の開発 3 機能性ポリフェノール成分の生体利用性に関する研究
	田中晃一 教授	1 新たな特性や機能性を有する微生物の探索・育種開発 2 地域微生物資源を活用した岡山ブランド商品の開発
	山下広美 教授	1 骨格筋の機能とエネルギー代謝に関する研究 2 食品中の機能性成分と骨格筋機能、エネルギー代謝、加齢に関する研究 3 加齢に伴う骨格筋の萎縮および生活習慣病の発症を予防する食品中の機能性成分に関する研究
	川上祐生 准教授	1 食品成分の作用機構と生活習慣病への応用に向けた研究 2 アラキドン酸カスケードに関する分子生物学的研究
池口主弥 准教授	1 機能性食品（保健機能食品、健康食品、ダイエタリーサプリメント等）の開発；動物からヒトへの用量外挿性研究、臨床研究 2 機能性素材探索・機能性食品開発におけるシステムティックレビュー・メタアナリシスのアプローチの研究；機能性食品に関する国内外の法制度研究 3 機能性食品に関する消費者心理・行動調査、市場・マーケティング調査、コンセプト開発	



大講座	担当教員	主な研究課題
保健福祉学大講座	近藤理恵教授	1 子どもの貧困、ひとり親家族、子ども虐待、DV、里親、養子縁組、いじめに関する日仏韓国比較に関する研究 2 教育行政と福祉行政の連携に関する研究
	岩満賢次教授	生活困窮者支援における地域づくり（主に若者、災害など）
	村社卓教授	1 高齢者の孤独予防に関わるソーシャルワークの研究 2 知的障害者の就労支援に関する研究
	竹本与志人教授	1 スーパービジョンを活用した高ストレス環境下における人材育成・管理モデルの研究 2 認知症のある人と家族介護者の経済状況と社会保障制度の活用に関する研究
	中村光教授	1 言語・認知の発達と老化に関する研究 2 神経学的コミュニケーション障害（失語症、高次脳機能障害、認知症）の評価と介入に関する研究
	坂野純子教授	1 精神障害者のLife Skillに関する研究 2 精神保健福祉領域におけるsense of coherence概念の有用性に関する研究
	高戸仁郎教授	1 視覚障害者の単独移動支援に関する研究 2 高齢者の介護予防に関する研究
	樂木章子准教授	1 心理臨床学的諸問題に関するグループ・ダイナミクス研究 2 過疎地域における住民自治に関するアクション・リサーチ

<参考>

履修案内・シラバス・教員・研究者データベースは本学ウェブサイトにて閲覧可能です。

○履修案内

<https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-353/page-910/>

【閲覧方法】

大学ウェブサイト「岡山県立大学」>大学案内>教育情報の公表>授業科目、授業内容、授業計画  
に関すること>履修案内

○シラバス

<https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/index.html>

【閲覧方法】

大学ウェブサイト「岡山県立大学」>大学案内>シラバス

○教員・研究者データベース

<https://gdata.oka-pu.ac.jp/search/index.html?lang=ja&template=template>

【閲覧方法】

大学ウェブサイト「岡山県立大学」>大学案内>教員・研究者データベース

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

## 岡山県立大学事務局教学課入試班

〒719-1197 岡山県総社市窪木 1 1 1 番地

TEL 0866-94-9163 (直通)

0866-94-2111 (代表)

ウェブサイト <https://www.oka-pu.ac.jp>

電子メール [nyushi@oka-pu.ac.jp](mailto:nyushi@oka-pu.ac.jp)